

障害福祉施設 評価結果一覧表

評価項目	指定管理者自己評価結果	評価機関評価結果
I. 総則	A	A
1. 施設の目的に基づいた基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されており、職員が理解しているか。	A
2. 施設目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設目的を達成できているか。	A
3. 従事者の勤務実績・配置状況	管理職を含む常勤従事者及び非常勤従事者の勤務実績・配置状況は適切か。	A
4. 従事者のマナー	利用者が気持ちよく利用できるよう、利用者に対する従事者の接客マナーは適切か。	A
5. 施設の設置目的を実現するために必要な人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組がなされているか。	A
6. 人権擁護発令への取組	利用者に対し、不適切な行為が行われないような体制を整えているか。	A
II. 施設・設備の維持管理	A	C
1. 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A
2. 備品の管理	施設の備品が適切に管理されているか。	A
3. 清掃業務、植栽・樹木等の維持管理業務	利用者が快適に利用できるよう、清掃が行き届いているか。施設周りの植栽・樹木等が適切に管理され、利用者が快適に過ごせるような良好な景観が保たれているか。	A
4. 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	A
5. 施設衛生管理業務	入浴や食事サービスを提供するに当たり、施設の衛生管理や感染症対策を適切に行っているか。	A
III. 運営業務及びサービスの質の向上	A	C
1. 利用しやすい受付案内の実施	利用者が利用しやすい受付案内を実施しているか。	A
2. 適切な利用情報の提供	すべての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な利用情報の提供を行っているか。	A
3. サービス水準の確保	個々のサービスについて、対応従事者によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組を行っているか。	A
4. 従事者間での情報共有	従事者間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A
5. 個人情報保護	個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A
6. 事故防止対策への取組	事故防止のための体制の構築・取組を行っているか。	A
7. 事故発生時の対応体制の構築	事故発生時の対応体制が確立されているか。	A
8. 災害発生時の対応体制の構築	災害発生時の対応体制が確立されているか。	A
9. 利用者の意見・苦情を抽出し、解決する体制の構築	利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。利用者の意見や苦情を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A
10. 利用者アンケートの実施	サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A
11. 各種相談業務	利用者代表からなる利用者会議を開催し、利用者の意見や課題がある場合には対応策を講じているか。	A
12. 虐待防止関係業務(権利擁護業務)	虐待防止に係る各種活動を適切に実施しているか。	A
13. 適切なサービス提供の実施(生活介護事業)	生活介護事業において、適切なサービスを提供しているか。	A
14. 適切なサービス提供の実施(児童デイサービス事業)	児童デイサービス事業において、適切なサービスを提供しているか。	A
15. 適切なサービス提供の実施(自立訓練事業(機能訓練))	自立訓練事業(機能訓練)において、適切なサービスを提供しているか。	A
16. 適切なサービス提供の実施(自立訓練事業(生活訓練))	自立訓練事業(生活訓練)において、適切なサービスを提供しているか。	A
17. 適切なサービス提供の実施(就労移行支援事業)	就労移行支援事業において、適切なサービスを提供しているか。	A
18. 適切なサービス提供の実施(就労継続支援事業)	就労継続支援事業において、適切なサービスを提供しているか。	A
19. 入浴・排泄に係る介助に適切な実施	入浴・排泄等の解離サービスを適切に実施しているか。	A
20. 食事に係る介助の適切な実施	食事に係る介助サービスを適切に実施しているか。	A
21. ボランティアとの協働	地域のボランティアを発掘し、施設運営に活用しているか。	A
IV. 地域及び地域住民との連携	B	A
1. 地域や地域住民との交流・連携の取組	地域や地域住民との交流・連携に関する取組を実施し、地域交流の支援を実施しているか。	B
V. 収支状況	A	C
1. 管理経費(指定管理料)等の執行状況	管理経費(指定管理料)は適正に執行されているか。	A
2. 収支決算状況	予算と決算に大幅な相違がないか。収入-支出がプラスになっているか。	+
3. 利用料金収入実績 ⇒該当施設(施設)のみ評価を実施する	事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。	101.9%
4. 経費節減の取組	経費節減のための努力を行っているか。	実施

項目	指定管理者自己評価	第三者評価機関特記事項
I. 総則	年度初めに、施設の基本方針等を職員に周知している。外部、内部の様々な研修を実施し、資質の向上に努めている。	・利用者アンケートでは、利用者1人1人に目が届いていない場面もあり、従事者の拡充を望む声が寄せられています。 ・職員の負荷を軽減し、利用者により安全・快適な環境を提供するために、欠員2名の早期補充が望まれます。
II. 施設・設備の維持管理	施設の老朽化により、遊具や外の門扉等に故障等があるが、お子さんが直接触れる物等は、職員が修理を行い、環境を整備している。	・「従事者が見守ること」を前提に使用されている遊具があります。不測の危険を未然に防止するという観点からは、早急な対応が望まれます。 ・老朽化した備品を、従事者が修理しながら使用している状況です。危険を未然に防止するという観点からは、老朽化した備品の更新などの対応が望まれます。
III. 運営業務及びサービスの質の向上	利用者の相談には早急に対応し、利用者に寄り添った支援を実施している。利用児や家族の方々が、安心して、楽しく通園できるような努めている。	・年1回消防署を招いた防災訓練に合わせたAEDの使い方を周知徹底されることを推奨します。 ・コロナの影響で難しい面はあると思いますが①幼稚園や保育園との交流の機会、②保護者同士の連携の機会(懇談会)の更なる拡充が望まれます。
IV. 地域及び地域住民との連携	市、区、他事業所等、関係機関と連携し、情報交換等より、利用者還元できるようにしている。	・地域住民とのネットワークづくりについても、機会があれば積極的に取り組まれると良いでしょう。
V. 収支状況	支出は当初予算作成時に、なるべく細かく設定し、不必要な支出が出ないようにしている。また、収入面では、見学や相談を積極的に受け付けたりし、稼働率の向上に努めている。	・保護者及び従事者の負担軽減の意味で、利用料や給食費の支払いを、現状の現金支払いに加えて、学園の銀行口座への振込や口座振替の併用をご検討ください。
VI. その他		・本園は令和7年度に移転・新設されることが決定し、移転に向けての準備作業が今後本格化することが予想されます。 ・前述した、①園長の負担軽減、②従事者の事務負担軽減、③事業団としてのDX推進の良い機会と捉え、できることから取り組まれることを期待します。

評価結果についての講評
<ul style="list-style-type: none"> ・総じて円滑な施設運営と個々の業務について丁寧な取り組みがなされていることを評価します。 ・万が一に備え、老朽化した施設・遊具等の安全性の確保及び事故防止の取組に一層の尽力をお願いします。 ・付帯業務を軽減・効率化することで、本来業務である3つの「支援事業」に投入できるマンパワーの拡充とサービス品質のさらなる向上を期待します。

指定管理者からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の老朽化している箇所は、再度点検し、一層の事故防止に取り組んでまいります。 ・令和5年1月1日付けで職員1名が増え、規定の体制となりましたが、今後も職員一丸となって精進してまいります。 ・DX化につきましては、事務局と相談していきたく思います。 ・指摘事項を真摯に受け止め、より良い施設作りに邁進してまいります。